

議会だより



松島第二小学校 学習発表会

平成22年度決算を認定

- ◇ 宮城県知事他へ要望書を提出 ……3P
- ◇ 決算審査特別委員会審査の内容 …8P
- ◇ 松島第一小学校体育館完成 ……12P
- ◇ 一般質問 4名の議員が登壇 ……18P
- ◇ ゲーミング・エンターテイメント
複合施設誘致対策の調査終了 …25P

平成23年
第3回 定例会

[9月22日～10月7日]



平成23年度第3回定例会が、9月22日より10月7日までの会期で開催されました。初日、前副議長小幡公雄氏の議員辞職に伴い、副議長に阿部幸夫氏が選出されました。提案された議案は、平成23年度一般会計補正ならびに特別会計補正予算、条例の一部改正、平成22年度各種会計決算、教育委員選任の同意などを審議し、原案どおり可決、承認されました。

また、平成20年より特別委員会を設置し、継続審査していた「ゲーミング・エンターテインメント複合施設誘致対策特別委員会」の調査を終了することになりました。

一般質問では、4名の議員が各々の視点から町政について質疑応答が行われました。

前副議長小幡公雄氏の辞職に伴い 副議長選挙並びに議会運営委員 の選任・決まる

就任あいさつ



九月定例議会において不肖私、議員各位のご推挙をいただき副議長に就任しました。誠に光栄に存じますと同時にその責任は極めて重大であり、町政の推進と議会の円滑な運営に最善の努力を尽くすとともに、議長の補佐役として職責を果たして参ります。

三月十一日発生した東日本大震災又、台風十五号とわが町においても家屋等に甚大な被害発生となりました。被災なされた皆様からのお見舞い申し上げます。未曾有の東日本大震災・原発事故による放射能の不安感など、社会全体に明るい兆しが見えない中、地方自治体を取り巻く環境は厳しい現状となっております。今後の復興を考えた時、町民の声を直接反映する議会の役割は重要であり、山積

副議長 阿部 幸夫

する課題に対し、自主・自立的かつ効率的な行政運営を図るため、さらなる議会活性化の推進に全力で取り組む所存でございますので今後共、議会に対し、なお一層のご支援とご協力をお願い致します。

議会運営委員会

委員 阿部 幸夫
第一常任委員会

副委員長 伊賀 光男
吉田川流域溜池
大和町外二市四ヶ町村
組合議会議員

阿部 幸夫
10月16日付
塩釜地区環境組合
議会議員 片山 正弘

宮城県知事他へ 要望書を提出

要望書提出



10月31日に宮城県三浦副知事へ提出

東日本大震災に伴う松島観光振興 並びに沿岸部高潮対策に関する要望書

3月11日の東日本大震災は、景勝地や文化財などの観光資源、ホテルや旅館、観光施設等に甚大な被害をもたらしました。

本町においては、関係団体、事業者とともに、日本三景松島の復興にむけて全力で取り組んでまいりました。

しかしながら、現状では、観光客が前年度に比べて約6割も減少しており、今後の回復の見込みが立たず切実な状況にあります。

また、震災から半年以上を経過した今も被災した堤防、あるいは樋管等から海水が流れ込んで来ている状況であり、観光客や沿岸部の住民からは大きな不安の声があがっております。

つきましては、日本三景松島の復興と沿岸部高潮対策について、早急かつ迅速に取り組まれるよう強く要望します。

記

- 1 観光客が安心して観光できるようにするため、護岸工事の早期着工並びに県立自然公園や観光スポット等の復旧を実施すること。
- 2 松島町の沿岸部は、海拔ゼロメートル地域が多く、今回の大震災によって、40センチメートル以上の地盤沈下をきたしている。
 そのため港湾区域・漁港区域・河川区域・農地海岸区域等の浸水被害防止対策を実施すること。

提出日 10月31日
 提出先 宮城県知事、宮城県議会議長
 東日本大震災復興対策本部宮城現地対策本部長
 提出者名 松島町議会議長 櫻井公一



松島水族館前遊覧船乗船券売場



磯崎漁港（磯島）

● 主な活動 ●

● 委員会開催

第6回	8月25日(木)
第7回	9月22日(木)
第8回	9月30日(金)
第9回	10月5日(水)
第10回	10月7日(金)
第11回	10月19日(水)

● 現地調査 9月30日

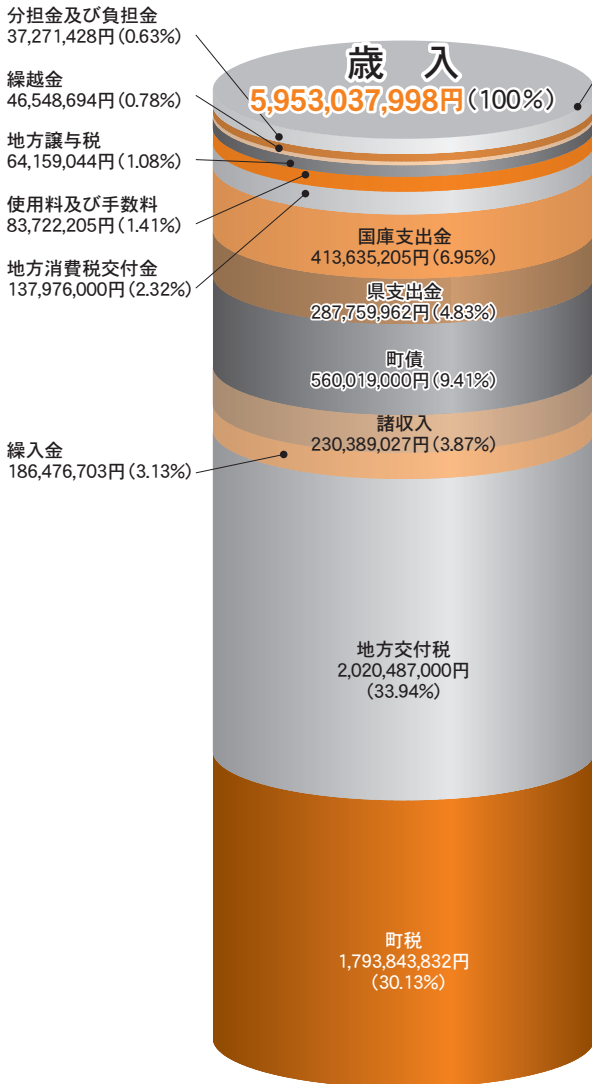
- 高潮浸水地域
- (調査箇所)
- 早川漁港
- 富山第2排水機場
- 手樽海浜公園
- 磯崎漁港(磯島)
- 松島海岸遊覧船発着場
- 松島水族館前

歳出

平成22年度 一般会計決算

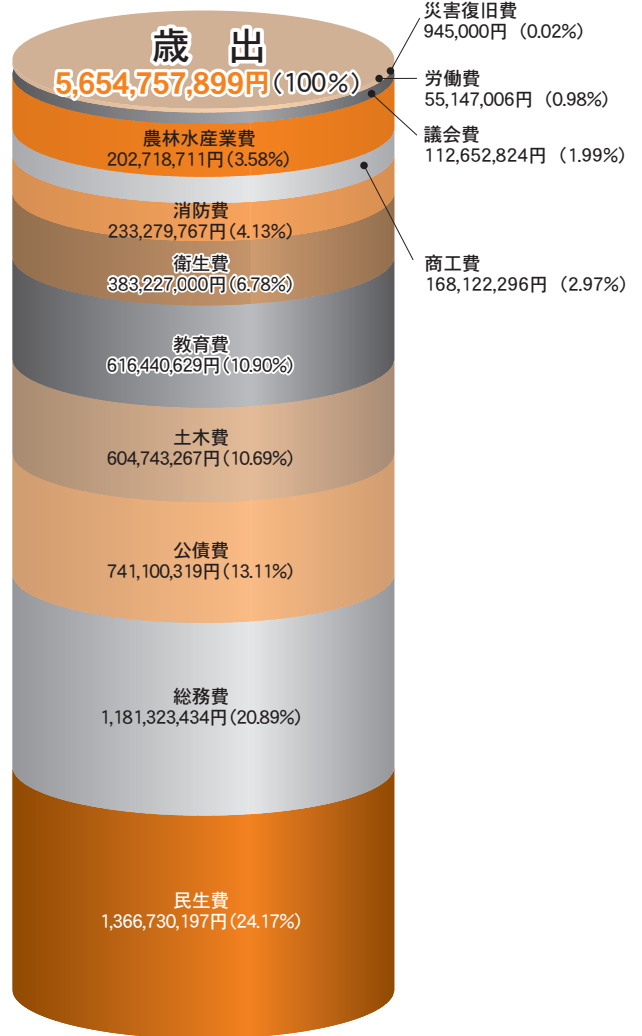
認定

56億5千475万7千899円



その他 90,749,898円 (1.51%)

自動車取得税交付金	16,448,000円 (0.28%)
ゴルフ場利用税交付金	18,064,184円 (0.30%)
国有提供施設等所在市町村助成交付金	14,948,000円 (0.25%)
地方特例交付金	21,247,000円 (0.36%)
財産収入	8,409,191円 (0.14%)
利子割交付金	4,506,000円 (0.07%)
交通安全対策特別交付金	2,845,000円 (0.05%)
配当割交付金	1,667,000円 (0.03%)
寄附金	2,088,523円 (0.03%)
株式等譲渡所得割交付金	527,000円 (0.01%)



決算

— こんな事業に使われました(一部抜粋) —



三十刈地内バリアフリー公衆トイレ建築工事



松島第一小学校体育館建設工事



平成22年度 特別会計水道事業会計

平成22年度 特別会計

国民健康保険特別会計

国民健康保険事業の健全な運営、町民の福祉の増進と適切な医療給付等に努めた。特定健康診査等については、引き続き生活習慣病対策の充実、強化を図るため、平成22年度から「血清クレアチニン」検査を導入し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のため検診指導に取り組むとともに、受診料を無料とすることで、住民の方々が検査を受けやすい環境づくりに努めた。

老人保健特別会計

歳入歳出差引額をゼロとし、老人保健特別会計の廃止に伴う打ち切り決算を行い、老人保健については、医療費の過誤調整に係る戻入を行った。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度の運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、市町村事務とされている保険料決定通知書の引き渡しや保

険料徴収事務、各種申請書等の受付事務を行った。

特別会計歳入歳出内訳表

(単位：円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	19億1,064万1,063	17億7,210万6,769
老人保健特別会計	262万9,315	262万9,315
後期高齢者医療特別会計	1億7,626万8,913	1億7,372万6,25
介護保険特別会計	12億1,489万6,260	11億9,879万3,379
介護サービス事業特別会計	421万8,373	388万2,500
観瀾亭等特別会計	8,269万389	8,034万9,953
松島区外区有財産特別会計	507万1,304	481万162
下水道事業特別会計	8億8,415万7,232	8億6,162万63

水道事業会計収支内訳表

(単位：円)

会計名	収入	支出
収益的収支	6億3,822万4,860	5億5,522万6,836
資本的収支	98万5,950	1億1,607万7,168

介護保険特別会計

要介護状態になることを予防するとともに、身近で対応する相談機関として住民のニーズに合せた相談支援に努め、大震災後は高齢者世帯、ひとり暮らし高齢者の見守り訪問等も行い、住み慣れた地域において生活ができるよう支援した。

介護保険サービス事業特別会計

介護保険における要支援者に対し、適切なサービスが提供できるようにサービス事業者との連絡調整を図った。

観瀾亭等特別会計

瑞巖寺灯道やお月見の会での夜間営業が好評で、季節に応じた茶菓子のサービス提供などで誘客に努めた。

また、カフェベイランドで松島産かき・アナゴ料理の提供など地場産品のPRにも努めたほか、福浦橋塗装工事を行い、観光施設の環境整備を図った。

松島区外区有財産特別会計

歳入は、土地の貸付収入及び積立金からの繰り入れ並びに利子収入等が主であり、歳出は、松島区有地及び高城区有地の管理費用が主なものである。そのほかは、財産積み立てを行ったものである。

下水道事業特別会計

歳出は、汚水処理施設である松島浄化センターの運転管理で、総流入汚水処理量は153万8千mとなり、汚水処理経費は3億7千250万4千円で1mあたりの汚水処理原価は258円となっている。

雨水排水施設については排水ポンプ場11箇所の運転管理による降雨時等の対応を行っている。下水道施設整備として、汚水系では、初原、愛宕処理分区の面整備として三居山二準幹線他築造工事並びに初原準幹線工事を実施、雨水系では、普賢堂雨水ポンプ場電気設備

更新工事・西柳地内排水路整備工事等並びに長田第二雨水ポンプ場機器更新設計業務を実施した。

水道事業会計

水道事業収益は、6億795万2千円となり、水道料金の値下げのため、前年度より1千858万6千円の減収となった。水道事業費用は5億2千976万3千円となり、県広域水道の受給水量の減量及び料金値下げにより受水費が減少により収益的収支では7千818万9千円の純利益が出た。資本的収入及び支出については漏水防止対策及び配水管の布設替、二子屋浄水場高圧動力設備更新工事等を実施した、年度末処分利益剰余金7千819万9千円は法定積立金として減債積立金に、391万円を積立てし、残額は翌年度繰越利益剰余金とするものである。

監査委員意見

一般会計・特別会計

決算審査の結果、厳しい財政状況のなかで、臨時交付金を活用しながら、予算の目的に従って適正に執行されたことを認める。

町長の施政方針に盛り込まれた計画は、大部分が年度内に実施されており、おおむね目標が達成されたことを認めた。

予算の流用・予備費の充用が多かった。大震災が発生したため、災害救助費の補正と予備費の充用はやむをえないが、多大な金額を補正した上に予備費から927万7千円を充用して、497万円のあまりを不用額とした。予備費の充用は慎重にすべきである。

東北地方太平洋沖地震災害復旧復興寄附金は82万5千円の収入である。23年度も多額の寄附金があると思うが、関係課相互がチェックして町の復旧復興費用に充てるよう

強く申し入れた。

3月11日発生の大震災の影響で、締めのないまま、繰り越しや不用額扱いが生じた。災害救助に懸命の時期だったので、やむを得なかった。

国民健康保険特別会計は、実質収支が1億3千853万4千円の黒字で、単年度収支でも8千923万円の黒字である。震災の影響で保険料納入が困難になる人が増えると思うので、減免や分割納付を工夫して、収入未済額を減らす努力を望む。

後期高齢者医療特別会計は、被保険者数が年々増加し、平成23年3月末で2千526人になった。実質収支は254万8千余円の黒字であるが、実質単年度収支では91万5千余円の赤字になった。収入未済額や不納欠損額について、減免や分割納付を工夫して、減少の努力をするように望む。

介護保険特別会計は、

要介護者等認定者実人数が、前年度比38人増えた。実質収支は1千610万3千余円の黒字で、実質単年度収支は1千689万9千余円の赤字である。高齢者と家族が介護や介護予防について、相談しやすい体制づくりをさらに望む。

介護サービス事業特別会計は、実質収支が33万6千余円の黒字で、実質単年度収支は18万千余円の黒字になった。要支援実人数が増えているので、要支援状態からの軽減や悪化防止の努力を望む。

観瀾亭等特別会計は、
東日本大震災による被害

と修繕のため、観瀾亭と福浦橋が営業できなくなつて収益に影響があった。実質収支は78万円の黒字で、単年度収支は180万8千余円の赤字である。

下水道事業特別会計は、平成21年度の繰上償還の影響で、支出済額合計が3億505万千円減額した。実質収支は2千246万5千余円の黒字で、単年度収支も270万4千余円の黒字になった。水洗化率は1・2％ふえて91・8％になった。今後も計画的な整備を図るよう望む。



水道事業会計

事業の概要は、給水人口が193人の減、給水戸数が2戸減、総配水量は約2万4千立方メートル増となった。当年度純利益は約7千8百万円で、前年度比約2千万円増加した。

建設改良については、漏水対策と安全給水を図るため、配水管の布設替えなどの整備を続けている。

事業費用は、前年度比約3千8百万円減った。県広域水道の受水費の値下げと企業債の繰上償還で支払利息が減つたためである。水道料金値下げによる収益減少をうめあわせて、純利益は昨年よりも増えた。配水量が増えたのは、夏の猛暑によるものである。

大震災による水道施設の損傷は大変大きかった。二子屋浄水場からの送水は、早い段階で復旧して町内の一部に供給できた。今後の復旧計画については、施設整備計画や人口減を考慮して整備を図ってほしい。

財政健全化判断比率・資金不足比率に関する意見

- ①普通会計
健全化判断比率とその算定の基礎になる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されている。おおむね健全に推移していると認められた。
 - ②観瀾亭等特別会計
 - ③下水道事業特別会計
 - ④水道事業会計
- ②③④については、審査に付された資金不足比率とその算定の基礎になる事項を記載した書類は、いずれも適正に作成されており、資金不足は生じていない。

総括質疑

質疑者・尾口慶悦議員



環境保全

問 エネルギー消費を必要最小限にとどめる努力はしてきたのか。

答 役場内でも電気を小まめに消したり、紙を有効に資源に回すようにしている。

問 廃棄物抑制は、徹底されたか。

答 町民が、ごみの問題は重要だと考えたために減ったので、日々の取り組みの結果である。

行政改革

問 行財政改革は痛みを伴うが、具体的な効果が出ているのか。

答 地デジ対策や景観行政への取り組み等の事業をした上で借金を返済し、貯金を増やした。

公共交通

問 仙石線松島海岸駅の整備については、町の負担が14億円というところから進んでいないのではないか。

答 JR内でもほかの駅とは別に松島だけやるのか、考え方の推移、費用負担などの問題もある。タイミングをはかりながら、本気で進めている。最終的にはお金の話になる。

企業誘致

問 企業は今、初期投資を抑えている。町は、企業が来やすい環境をどうつくって、誘致するのか。

答 誘致のために町が投資するのは理想的だが、事前に工業団地を造成すると、不良資産となってしまうことがある。企業訪問はうまく進んでいないが、震災後の企業誘致には、戦略と計画をきっちり立てて、組織として取り組んでいく。

人口対策

問 松島町だけではないので難しいと思うが、人口増対策ではどういうことをしたのか。

答 住宅地の整備が必要である。また、福祉や教育、医療もあわせながら、松島の魅力を増して正の循環を作っていくことが大事である。これまでより、一歩進んだ施策を進めていく。

観光対策

問 松島、平泉、気仙沼などで、6市5町（伊達な広域観光推進協議会）のトップセールスを行ったが、効果が出ているのか。

答 四寺廻廊、伊達な観光、広域観光をPRしてきたが、認知度がいま一つである。今後とも前進松島として頑張っていく。



決算審査特別委員会 審査の内容

質疑者

議長・委員長を除く16人の委員全員

財務課所管

問 予算の流用と予備費からの充用が目立つ。充用した以上に余ったこともあり、おかしい。

答 震災の影響もあり、今後はきちんと運用していく。

問 耐用年数の過ぎた町営住宅は今後どのようにしていくのか。

答 木造住宅はすべて耐用年数を過ぎており、用途廃止等も含め、長期総合計画や復興計画の中でも住宅政策を決定していく。

産業観光課所管

問 耕作放棄地は、すぐできるもの53ha、起耕すればできるもの19ha、不可能35haである。実態調査をして、耕作できるようにしたいと言ったが、成果はどうか。

答 1haで飼料米を作付けした。条件の不利な所が多く、担い手がいれば任せたい農家はあがるが、耕作放棄地の解消には至っていない。

建設課所管

問 都市計画道路磯崎根廻線の基本設計業務委託料は、どのくらい費用圧縮になったのか。

答 橋梁の橋長を短くすることで、約7千万円くらい縮減できる。

課、財務課、教育委員会
で料金を協議しているが、結論は出ていない。

企画調整課所管

問 町のホームページをリニューアルしたら、アクセス数が約17万件増えた。外国人によるものが、どれくらいあるのか。

答 内訳はわからない。

問 高城コミュニティセンターの計画はどうなっているのか。

答 担当は総務課である。実施設計ができて、震災対策を踏まえ検討している。

問 観瀾亭と福浦橋の入場者数は前年比10%以上減っている。

答 団体旅行から個人旅行に変った影響があり、入場者が減っている。しかし、抹茶などの売り上げ収入は伸びている。

問 入札監視委員会から指摘されたように、1社だけの随意契約はおかしいのではないか。

答 役場内でもそのように考えており、できるだけ2社以上から見積もりを取る等の形でやっていく。

問 高齢化も進んでおり、投票率向上のためにも団地などに投票所を設けるべきでないか。

答 増設については、検討していないが、場所の変更は考えている。

問 町民バスは、現在の運行を維持しながらデマンド方式（玄関から玄関まで）などの形態が必要でないか。

答 町民バス運行開始から年月もたつている。民営化、投資的効果、費用対効果など一度検証する時期にきている。

問 去年の議会報告会において、小学生のバス賃を無料にという地域から要望があったが。

答 学校の統合時、バス料金について意見が出た。現在、事務レベル（総務



総務課所管

問 選挙投票所で危険な場所（磯崎投票所など）がある。投票所の変更または増設など検討しているか。

答 選挙管理委員会でも問題点を出しており、区長に申し入れた。現状どおりでの回答である。

町民福祉課所管

問 相談支援事業は本来町でやるべきではないのか。

答 どうしても専門性が必要な場合があり、県社協を通じて、「ぱれっとさんのう」に委託している。

問 社会福祉協議会への補助事業の内容はどのように決定しているのか。

答 町の福祉行政の補完的な事業を社協にお願いしており、よりよい福祉のためお互いに協議しながら決定している。

問 長松苑への土地の無償貸与はどのように決定したのか。

答 千賀の浦福祉会の設立経緯、長松園の建設経緯を含めて施設の役割の重要性和、町の高齢者福祉事業の展開も考慮して期間延長を決定した。

問 乳幼児医療費の助成の増額を検討したことはあったのか。

答 2、3のケースで推

計しており、どの方法がよいのか検討はしている。

《国民健康保険特別会計》

問 特定健診の不用額が多くなった理由は。

答 予算編成時の人数と実施した時の人数の差である。

問 特定健診の受診率が上がらなかった要因は。

答 アンケート調査では、通院している人や、医療機関で定期的に健康診断を受けている人が多かった。

問 療養給付費は件数は2・6%下がって、支給額は5・7%増えている。高額療養費は件数も支給額も増えている。早期の治療が大切ではないのか。

答 指摘されているとおりである。他町村のやり方、たとえば各種団体に保健師等を派遣して、健診の重要性を説明して受診率を上げる等の方法を参考にしている。

問 財政調整基金を取り崩して税を引き下げることはできないのか。

答 平成25年度の医療制度改革の中で検討している。

教育委員会所管

問 留守家庭児童学級の指導員の勤務体制は。

答 実質12人の臨時職員で運営しており、その7割は教員免許等の有資格者である。

問 留守家庭学級は3年生までであるが、4年生以上は対応できないのか。

答 国の方針であるが、本町では特別支援を要する児童は6年生まで入級させている。他町では児童館で対応している。

問 奨学金の利用が少ないのではないか。金額等に問題があるのでは。

答 町だけの奨学金だけでは金額としては少ない

と思うが、非常に難しい問題であり、検討の余地がある。

問 温水プール美遊は、3月11日の大震災で避難場所となったが、職員の勤務体制はどうしたのか。

答 教育委員会の出先も含めた職員全員で当たった。教育課長が勤務シフトを作り、50日間乗りきった。

水道事業所 下水道班所管

問 合併処理浄化槽設置について積極的な住民対策をしたか。

答 毎年5基、8基と出ている状況であるが平成22年度は、5基の設置にとどまっている。

問 促進させるためには、補助率、補助金の検討をしなければと思うが、

答 20年で293基、下水道エリア以外が1千100戸ぐらいある。その促進が今後の課題である。今回指摘を受けたことは今後検討する。

水道事業所 上水道班所管

問 水道料金値下げで1千900万円ほどの減収となった。値下げ自体はよかったと思うが、受水経費は4千200万円下がっている。今後、もう少し料金値下げを考えてはどうか。

答 今後5年間の人口、給水の量等勘案して出たのが約2千万円である。



町への意見・要望

総務課所管

投票所の増設について

磯崎地区では選挙時における投票所が区民会館の1箇所となっている。県道沿いで駐車スペースもなく、車両の往来があり安全な環境の投票所であるとは言えない。他地区においても高齢化が進み、足の確保等、不便であると指摘されている。投票率の向上を図るためにも適正な場所（期日前投票所含む）での投票ができるよう増設を図りたい。

町民バス利用について

公共交通空白地域の生活利便の向上及び福祉の増進並びに生活環境の向上を図るため、町内全域に町営による路線バスを運行しているが、高齢者の利用率が年々減少傾向にある。新たな地域交通システムの導入を視野に入れ、公共交通網の整備を図られるよう検討されたい。

高城集会施設の設置について

高城集会施設は既に実施設計が完了している。避難所としての機能も担うため、防災上の安全が確保されるよう建設場所の見直しを求める。

産業観光課所管

遊休農地について

遊休農地の有効活用のため町独自の機械設備の整備や補助等をし、対策に取り組むよう強く求める。

建設課所管

随意契約について

随意契約にあたっては一人のみではなく、入札監視委員会からの指摘もあることから複数の業者を選定しながら適切な入札業務が行われることを求める。

町営住宅について

町営住宅は、町民生活の安定と社会福祉の増進を図るためのものであるが、町営住宅（上初原60戸、愛宕16戸、幡谷10戸、小石浜6戸）82戸の老朽化が著しい。耐用年数も過ぎていることから今後は、用途廃止、払い下げ、補修の3通りが考えられるが、定住促進の観点から住宅管理計画を立て早急に示されたい。

水道事業所所管

合併浄化槽の推進について

生活環境の保全及び公衆衛生の向上に寄与することを目的とした合併浄化槽設置は、平成22年度5基の設置にとどまっている。下水道区域外は合併浄化槽で対応する方向付けが示されているが、高齢化により設置さえ難しい状況にある。これらの住民対策として維持管理費を含めた補助の施策を講じ、積極的に普及推進を図られたい。

教育委員会教育課所管

奨学金貸与事業について

現在の奨学金制度では学校生活を充足する程度には至っていない。奨学金の金額を上げる等対策を講じ、有効活用されるよう対処されたい。

国民健康保険特別会計

特定健康診査について

特定健康診査は平成20年4月から始まった生活習慣病予防のための新しい健康診査である。平成22年度から特定健康診査は無料となっているが、受診率は平成21年度で、48・6%、平成22年度で49・3%と成果には結びついていない。受診率を高めるための啓蒙、啓発を含めた対策を早急に講じられたい。

各課共通

予算の流用・予備費の充用について

平成21年度の決算で充用・流用は、真にやむを得ない事由で執行科目に予算不足が生じた場合、必要最小限にとどめるべきと指摘している。予備費からの充用に多額の不用額が生じており、不適切な会計処理となっている。予算の流用・予備費の充用は総体的に必要な金額を把握し適切な会計処理が図られるよう強く求める。

平成22年度 決算認定

討論

一般会計

今野 章議員

【反対】 3月11日に発生した地震による津波と原発事故による被害が拡大している。22年度事業は、第一小学校体育館の建てかえなど、多くの施策を評価しながら、問題点を指摘する。

臨時職員等に対する待遇改善は、同一労働は同一賃金という考え方で改善を求める。

町民バスは、7万人前後が利用している。高齢者はバス停まで歩くのが大変になっており、住民ニーズに適した地域公共交通施策が求められているのではないか。

長松苑は、ひき続き無償で土地を貸与している。近隣市町では有償である、どちらかに統一すべきである。

町営住宅は老朽化が激しい。本町では公営住宅への需要が高く、定住を促進するためにも、建てかえ等を進めるべきで、管理と建設計画の策定を

求める。

耕作放棄地対策が進んでいない。農地として守ることは、町の重要な課題なので、対策に知恵を出してほしい。

震災時に奮闘した町長と職員に敬意を表しながら反対の討論とする。

伊賀 光男議員

【賛成】 3月11日に未曾有の大災害があり、そのなかで国・県・町の制度に従って、一般会計については、適正に執行されたものと判断して賛成討論とする。

国民健康保険 特別会計

今野 章議員

【反対】 国民健康保険税の徴収率は87%、滞納繰越分を含めると57%で滞納繰越額の総額は2億8千万円余りである。加入世帯数は2,496世帯で、このうち所得が低くて減免を受けているのは1,116世帯である。加入世帯の45%が減免をうけている。収納法などの問題によって滞納が増える構造がある。滞納をつくり出す一方で、赤字を防ぐために税率を引き上げてきた。これを打開するには、国の負担を増やして国保税を下げべきである。また、滞納を理由にして保険証を取り上げるのはやめるべきである。

後藤 良郎議員

【賛成】 国民健康保険は、医療の確保と健康増進に大きな役割を果たしてきた。しかし、高齢化の進展と経済情勢の悪化で、大変厳しい財政

後期高齢者医療 特別会計

今野 章議員

【反対】 この制度は、75才になった人を家族とは別の保険に移して高齢者にも保険料を負担させたので、制度に対する高齢者の批判は大きかった。この制度の廃止と、安心できる医療制度の実現を求めて、反対の討論とする。

【賛成】 この制度は、現役世代と高齢者世代の費用負担の割合を明確にして、平成20年4月に創設された。公費5割、現役世代からの支援4割、被保険高齢者1割である。国民の高齢化に伴って、医療費はますます増える見通しで、高齢者医療制度をめぐる環境は大変厳しい。

この事業は、宮城県広域連合と連携して、各種の事務を滞りなく行ったと推量して賛成する。

● 松島町民体育館条例が

廃止

● ● どうなるの？

議案 審議

現在の利用形態	条例廃止後の利用形態
<p>町民体育館</p> <p>※応急危険度判定結果『危険』（平成23年3月25日判定）</p> <p>1. 授業時及び学校行事時には松島第一小学校が使用</p> <p>2. 休日・夜間は一般利用者が使用</p>	<p>第一小学校体育館</p> <p>平成23年11月1日利用開始</p> <p>1. 授業時及び学校行事時には松島第一小学校が使用</p> <p>2. 休日・夜間は一般利用者が学校施設の利用に関する規則で使用</p>
<p>第二町民体育館</p> <p>1. 授業時、部活時及び学校行事時には松島中学校が使用</p> <p>2. 休日（部活使用時を除く）、夜間は一般利用者が使用</p>	<p>松島中学校屋内運動場</p> <p>1. 授業時、部活時及び学校行事時には松島中学校が使用</p> <p>2. 休日（部活使用時を除く）、夜間は一般利用者が学校施設の利用に関する規則で使用</p>

質疑者

- 尾口 慶悦 議員
- 今野 章 議員
- 斎川 晴 議員
- 色川 夫 議員
- 太色 一 議員

一般の利用は、利用者会議で調整



解体予定の町民体育館



新設された松島第一小学校体育館



第二町民体育館

主な内容

今回の改正は、町民体育館の管理運営の状況、利用形態等を考慮し、町民体育館の解体、第二町民体育館を補助事業で改修整備を図るため、松島町民体育館条例を廃止するものである。

質疑

問 町民体育館、第二町民体育館、今後完全に貸せなくなるのか、どうなるのか。

答 町民体育館を利用していた方は、新しくなった第一小学校の体育館を、学校施設の利用に関する規則で利用できる第二町

問 利用する時の申請はどこにするのか。その費用は。

答 3日前まで学校施設利用許可申請書を校長へ提出。教育委員会に提出。使用料は学校施設の利用に関する規則で町内、町外の規定はないので施設使用料は無料となる。

松島町都市計画税の一部改正

主な内容

地方税法等の一部を改正する法律が、平成23年6月30日に公布された事に伴い改正するものであり、固定資産税の課税標準等の特例の見直し等に伴う改正である。

賛成全員・可決

議案審議

松島町議会の議員 その他非常勤の職員 の公務災害補償 等に関する条例の 一部改正

主な内容

今回の改正は、障害者自立支援法の一部改正に伴い、条項のずれを改正するものである。

賛成全員・可決

松島町町税条例 等の一部改正

主な内容

改正の主な内容は、個人町民税の寄附金税額控除の適用下限額の引き下げ及び肉用牛に係る免税の適用期間の延長等。また、個人町民税の不申告に関する過料の限度額の引き上げの見直しを行うとともに、税負担軽減措置の延長等を行うものである。

賛成多数・可決

質疑

問 町内に事務所、事業所、家屋などを有する個人で町内に住所を有しない者は、納税管理者を置くことになっているが置いているのか。

答 固定資産税の納税者で4件ある。

問 不申告は年間どの位あるのか。また過料を科したことがあるのか。

答 国保については、把握可能であるが、町県民税については、震災などもあり難しい、また過料については無い。

問 不申告と脱税で、その認定はどうしているのか。

答 所得がない方は申告しなくてもよいが、所得があつて申告しない方の対応として、まず調査し正当な理由があるのかどうかである。今後、要綱とか基準をつくっていく。

討論

【反対】 厳しい経済状況及び雇用情勢に対して税制の整備を図ることでの一部改正である。納税者への過料を、3万円から10万円に引き上げし、罰則の強化が図られることは、町税徴収を一層強制的で人権侵害にながつていく。

また、厳しい経済情勢化において、累進税制をしつかりやるのが求められている。大企業などは、社会的、道徳的にもその責任を果たすべきであり、反対する。

【賛成】 現下の厳しい経済状況及び雇用状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税等の一部を改正する法律が公布された。これに伴つての改正であり、妥当と認め賛成とする。

災害弔慰金の支給 等に関する条例の 一部改正

主な内容

今回の改正は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部を改正、災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲に、兄弟姉妹を加えるものである。

賛成全員・可決

災害弔慰金等支給 審査会等の事務の 委託に関する協議

主な内容

東日本大震災の災害弔慰金支給等について、災害起因による関連死か否かについて審査する災害弔慰金支給審査会の設置及び運営を宮城県に委託するものである。

賛成全員・可決



関連死とは

震災において、津波に流されての溺死や倒壊家屋の下敷になつての圧死などの地震による直接起因する死ではないが、震災後の避難所生活など、震災による環境の変化などにより死亡した場合をさします。

人事

教育委員会委員の 任命に同意

現教育委員の藤澤美子氏が平成23年9月30日をもって任期満了に伴い、教育委員の任命について、賛成全員で同意するものである。

氏名・藤澤美子
住所・松島町幡谷吉崎

40番地の5

災害弔慰金等支給審査会・事務の流れ

松島町	ご遺族
事務の委託決定後	
	1. 相談
2. 聞取書提出依頼	
	3. 記載及び提出
4. 県への審査依頼	
5. 県からの回答	
6. 申請者への通知	
8. 支給手続き	7. 弔慰金の受領手続き (該当の場合)

各種会計補正予算

補正一般会計
予算
(第7号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う繰越金および平成23年3月11日発生の東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧費ならびに町税の減免等について補正するものである。

主な支出は、災害事務関係等に伴う職員の時間外手当についての補正。

東部地区地域交流センターを利用している「いちようの会」が行う、地域コミュニティ活動事業に対し支援するものであり、財団法人自治総合センターコミュニティセンターより助成金の交付決定を受けての補正。

東北地方太平洋沖地震に伴い、塩釜地区消防事務組合の車両等が被災し、消防力の低下が著しく、施設整備の復旧が最も急務であり最優先することから、今年度のみの特例

措置として、石油立地交付金の2市3町の配分額を全額塩釜地区消防事務組合に交付し、非常備消防費を減額補正。

町民体育館条例の廃止により、中学校体育館への権限がえに伴う管理経費等についての補正、旧第二町民体育館を中学校体育館として活用するため、雨漏りの抜本的な修理や施設老朽化を改善し、中学校体育館として安全かつ効果的に活用するために大規模改修実施設計業務を補正。

8月に災害査定された道路災害7カ所の道路補助災害復旧工事および震災以降の余震により、運動公園のテニスコート人工芝下部アスファルトの亀裂・段差等の復旧に係る測量設計業務の補正、同じく、8月に災害査定された野外活動センターのり面等災害復旧工事等についての補正である。

歳入歳出それぞれ、1億

7,243万7千円を増額するものであり、平成23年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ74億7,823万4千円となっている。

質疑

問 石油貯蔵施設立地対策交付金を全額塩釜地区消防事務組合に交付するのは問題はないのか。

答 交付申請が5月と10月であり、2月に県と事前ヒアリングを行ったが、3月の大震災後に県の方針が変わり、今回だけの特例措置として、常備消防に重点的に交付するとの通知により、このような結果となった。

問 来年10月に行われるねりんピックについて、松島に宿泊者が多くなるような施策はないのか。

答 町単独のブースなりを確保して、PRしていきたい。

質疑者

- | | | |
|------|------|------|
| 尾口慶悦 | 片山正弘 | 緑山市朗 |
| 太齋雅一 | 伊賀光男 | 高橋利典 |
| 色川晴夫 | 高橋幸彦 | |
| 今野野 | 章議員 | 赤間 洵 |

問 保育料金の負担金の減額理由は。

答 全壊、大規模半壊、半壊等で、約29件、約380万円ほどであり、これからのこともあり、400万円減額した。

問 災害対策としてのメール配信システムはどのような内容になるのか。

答 震災や台風等の災害の種類によってはいろいろな内容がちがってくる。役場職員等については、グループ分けをして情報をすばやく発信できるようにする。平常時は、イベント等の情報発信にも使っていきたい。

松島町一般会計補正予算(第8号)

主な内容

今回の補正は、平成23年台風15号により被害を受けた方々への見舞金及び台風被害等に伴う災害

復旧費、並びに東北地方太平洋沖地震にて発生した木材、湾内漂着物、被災船等の災害廃棄物処理に要する経費を補正するものである。

質疑

問 見舞金を1件当たり3万円と決定した理由は。

答 いろいろな金額について検討したが、床上浸水については半壊相当として、3万円とした。

問 災害廃棄物手数料はどんな契約になるのか。

答 契約は3月までの見込みで積算している。物によって単価が違っており契約も違っていている。環境省や県とも話し合いを進めている状況である。

問 県に処理を一括して委託したのではないか。

答 二市三町の廃棄物の処理は、県の稼働が本年

の夏か秋との情報もあり、このような予算を計上した。

問 町単独で処理する場合は割高になるのではないか。

答 単価については県と数回話し合い認めてもらっており、オーバーした分については町単独でということはありません。う確認を環境省から得ている。

問 見舞金支給の周知の時期、方法、実施期間は。

答 議決後、各行政区にチラシを配布。11月の広報、ホームページへの掲載として被災者の方からの申請を受け付け、順次支給する。

賛成全員・可決

各種会計補正予算概要

(単位：千円)

会計名		補正前の額	補正額	計
一	一般会計(第7号)	7,478,234	172,437	7,650,671
一	一般会計(第8号)	7,650,671	264,446	7,915,117
特別会計	国民健康保険(第3号)	1,880,600	25,393	1,905,993
	後期高齢者医療(第1号)	183,750	2,648	186,398
	介護保険(第3号)	1,274,993	43,728	1,318,721
	介護サービス事業(第1号)	5,373	335	5,708
	観瀾亭等(第3号)	80,671	19,218	99,889
	松島区外区有財産(第1号)	1,414	263	1,677
	下水道事業(第4号)	1,103,901	106,537	1,210,438
水道事業会計	資本的収入(第3号)	3,601	△ 3,600	1
	資本的支出(第3号)	68,179	△ 3,600	64,579

国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う一般会計繰出金および東北地方太平洋沖地震に伴う国民健康保険税の減免申請見込額、療養給付費等一部負担金の増加による療養給付費等の増額並びに国民

健康保険審査支払業務の効率化を図るための国民健康保険システムの改修費用等について補正するものである。

賛成全員・可決

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う一般会計繰出金および後期高齢者医療広域連合納付金並びに東北地方太平洋沖地震に伴う保険料減免に係る過年度保険料還付金について補正するものである。

賛成全員・可決

介護保険特別会計補正予算(第3号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う一般会計繰出金及び東北地方太平洋沖地震に伴う介護保険料の減免申請見込額、介護サービス利用の増加に伴う介護サービス等諸費の増額並びに平成22年度事業費の実績に伴う支払基金への返還金、震災による施設入居者の食費・居住費免除に伴う償還金を補正するものである。

賛成全員・可決

介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う繰越金を介護保険特別会計へ繰り出しするものである。

賛成全員・可決

松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)

主な内容

今回の補正については、平成22年度決算に伴う繰越金及び東北地方太平洋沖地震に伴い破損した福浦橋の本復旧工事等について補正するものであり、また、震災後の観光客減少等に伴う事業収入を減額し、これらの財源を精査し、財政調査基金繰入金を増額するものである。

質疑

問 福浦橋の工事はいつごろ実施するのか。

答 12月から3月までの閉館期に実施したい。

問 パノラマハウスの震災後の対応はどうなっているのか。

答 被害調査の報告書はできあがっており、町の意志決定ののち、議会全員協議会等を開催して進めていきたい。

賛成全員・可決

松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)

主な内容

今回の補正は、松島区の前年度繰越金について補正し、松島区の区有財産へ積み立てするものである。

賛成全員・可決

松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う一般会計繰出金及び東北地方太平洋沖地震により被災した公共下水道施設の災害復旧事業について、8月末時点での災害査定完了箇所について補正するものである。

賛成全員・可決

質疑

問 震災後に、下水道の入っている道路等が陥没しているが、その対応は。

答 道路管理者の建設課と連絡調整し、連携して対応していく。

問 側溝と道路の段差のあるところが多く見られるが、その対策は。

答 点検しながら安全対策をとっていく。

賛成全員・可決

松島町水道事業会計補正予算(第3号)

主な内容

今回の補正は、平成22年度決算に伴う一般会計繰出金及び東北地方太平洋沖地震により被災した公共下水道施設の災害復旧事業について、8月末時点での災害査定完了箇所について補正するものである。

賛成全員・可決

臨時会

災害復旧費 12億368万3千円追加



今臨時会は、5月18日の第4回臨時会で否決された松島町商工業災害再建資金貸付条例の修正案、および災害復旧事業費のための一般会計補正予算について審議されました。

質疑者

- 尾山口 慶悦 議員
- 片山 弘 議員
- 伊賀 光 議員
- 川賀 正 議員
- 晴光 弘 議員
- 夫男 弘 議員
- 議員

松島町商工業災害再建資金貸付条例の制定 (再提案)

主な内容

今回の条例案は、事業所または店舗の全壊・大規模半壊・半壊以外に、「主な事業用資産の著しい損害」についても対象

- 赤間 恂 議員
- 谷 秀 夫 議員
- 小幡 公 雄 議員
- 菅野 良 雄 議員

とする。そして償還金の支払猶予ならびに償還免除の条項を加えて、再提案されたものである。なお、一部議員より、貸付対象を「一部損壊」にまで拡大すべきとの修正動議が提出されたが、否決された。

質疑

問 貸付対象を一部損壊にまで拡大したらどうか。

答 本条例の趣旨は、商業者で事業所または店舗が半壊以上の被災、そして事業用資産に著しい損害を受けた場合においても一部損壊についても対象とするということである。一部損壊を一律に総て対象とすれば莫大な予算措置が必要となるし、また商業者以外の被災者との差別も生じることになるので、対象拡大はできない。

賛成全員・可決

- 後藤 良 郎 議員
- 今野 章 議員
- 藤野 良 議員
- 斎藤 雅 一 議員
- 太 齋 雅 一 議員

補正一般会計 (第5号) 算計

主な内容

今回の補正は、東北地方太平洋沖地震に伴う災害復旧費等について補正するものであり、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ12億368万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ72億4,494万円とするものである。

- ① 災害見舞金給付事業 被災者28人分と被災家屋1,560戸分として、3,595万円。
- ② 住宅応急修理事業 1世帯あたり限度額52万円を600件追加分として、3億1,200万円。
- ③ 損壊家屋外解体等震災廃棄物処理事業 災害廃棄物処理費とし

- ④ 埋火葬費給付事業 基準額20万1千円を20件分、40万円。
- ⑤ 松島町商工業災害再建資金貸付事業 上記の条例判定に基づき、貸付限度額100万円を30件分、3千万円。
- ⑥ 農業用施設災害復旧事業 復旧工事費および国庫補助金のための資料作成費として、4,592万5千円。
- ⑦ 公共土木施設災害復旧事業 道路・橋梁・河川等の復旧工事費等として、1億6,989万8千円。

賛成全員・可決

臨時会

震災復旧・復興関連に 一般会計補正予算で 2億3,329万円追加



震災廃棄物の緊急受入場所として使用した町民グラウンド現状復旧工事請負契約の締結及び一般会計並びに特別会計の補正予算について審議されました。

質疑者

阿部幸夫議員
色川晴夫議員
尾口慶悦議員
太齋雅一議員
小幡公雄議員

災害廃棄物仮置場（町民グラウンド）現状復旧工事の請負契約の締結

質疑

問 町民グラウンドの現

状復旧工事で、ピッチャーズマウンドをつくるのか。
答 基本的に少年野球も使っているので、前のおり復旧工事したい。

問 基準を設けて、指名競争入札をすべきではないか。

工 事 名	災害廃棄物仮置場（町民グラウンド）現状復旧工事
契約の方法	指名競争入札による契約
契約金額	金51,828,000円
契約の相手方	仙台市宮城野区扇町3丁目1番5号株式会社 NIPPO宮城統括事業所

答 緊急性なり、今の状況を考えて、できるだけ早く適切にやることで、今回の手法を選んだ。

賛成多数・可決

補正一般会計予算（第6号）

- ① 一部損壊住宅修理補助金3,000万円
- ② 農業・食品産業強化対策整備費2,016万円9千円
- ③ カキ養殖再生事業委託料461万円
- ④ 下水道事業特別会計繰出金304万5千円
- ⑤ 発電機購入412万円
- ⑥ 農地災害査定設計書及び農業用施設災害査定設計書作成業務委託料4,330万円
- ⑦ 公共土木施設災害復旧費1億1,555万円
- ⑧ 役場庁舎災害復旧詳細調査検討業務委託料1,250万円

質疑

問 一般住宅の一部損壊で、400戸分を補正したが、財政調整基金は十分ある

答 現在の財政調整基金は、2億9千万円ぐらいあるが、大変厳しい状況である。

賛成全員・可決

国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

国民健康保険税の減免分として財政調整基金からの繰入金600万円。

賛成全員・可決

介護保険特別会計補正予算（第2号）

介護保険特別会計62万7千円。

賛成全員・可決

下水道事業特別会計補正予算（第3号）

一般会計及び災害復旧債等からの繰入れとして、1億5,608万3千円が計上された。

賛成多数・可決

町政 Q & A

ここが聞きたい! 一般質問

4名の議員が7件について質問

佐藤 皓一 議員 (19ページ)

- 震災後の心のケアをどうするのか
- 風評被害（放射能）をはね返そう

後藤 良郎 議員 (20ページ)

- 乳幼児医療費助成の拡大について

渋谷 秀夫 議員 (20ページ)

- 松島駅・松島海岸駅の拡張整備及びバリアフリー化の推進について
(松島町長期総合計画、第3次基本計画)

今野 章 議員 (21ページ)

- 定住促進へ福祉の充実を急げ
- 高城川堤防のかさ上げを急げ
- 一部損壊や宅地損壊に支援強化を

問

震災後の心のケアをどうするのか

答

体制づくりをすすめる暮らしやすい町をめざす

問 大震災後の心のケアをどう位置づけるのか。

答 震災後12日目から専門の心のケアチームが避難者などの相談を始め、5月頃まで対応した。緊急時期は過ぎたが、震災後の心的外傷後のストレス障害は、2〜3年後の相談が多いという報告があり、重要課題である。

問 震災直後に、どんくろと役場の職員が、ペアで回って好評だった。町の体制づくりはどうか。

答 ストレス障害を訴える人はいないが、心の不調の現われ方には個人差があり、気づかない時もある。今後、相談件数が増える予想もあり、各種相談機関の相談員を活用しながら対応する。

問 将来、ケアの必要人が増える。課題は。

答 災害時はもちろん、平時の対応も大事である。行政区や自治防災組織などと協議して、人間関係づくりと人材育成につとめ、安心して暮らせる町づくりをめざす。



さとう こう いち 議員
佐藤 皓一 議員
(一問一答方式)

問

風評被害(放射能)をはね返そう

答

コメは非検出で、カキは検査中



問 原発事故による風評被害が起きている。東北地方の食材が影響を受けており、今年のカキの販売に響くかも知れない。

答 国は消費者の目線から食の安全・安心を確保しようとしている。カキの放射性物質は、10月30日の作業開始にあわせて、10月3日に松島湾と石巻湾で検査した。安全であるという結果が出次第、町は県漁協組合松島支所と連携して、積極的に売り出す。コメは、9月16日に本調査をして放射性物質が検出されず、出荷自粛が解除された。野菜も9品目を検査して、安全・安心を発信する。

問 皆のために「大丈夫だ」と発信してほしい。

答 国の暫定規制値を上回る食品には規制措置がとられる。これは、相当の安全性を見込んで設定しており、出荷停止になつた食品を一時的に飲食しても、健康上心配はない。町は、測定された数値を公表していく。

一般質問



藤 良 郎 議員
（一問一答方式）

問 乳幼児医療費助成の
拡大について

答 今後の課題として考える

問 第2常任委員会の報告書の中でも提案しているが、若い親御さんとお話する中で大きな負担になっているのが医療費である。その負担を少しでも軽くしてほしいという声が圧倒的に多い。あらためて子育て環境についてどう考えるか。

る政策から順次実施に向けて進めていく。

問 子育て支援の観点から乳幼児医療費助成の拡大をするべきと考えるがどうか。

答 拡大については、県の補助の範囲を超えていることから、かかる費用は町単独で負担することになり、財政的に見ると難しいものと考ええる。引き続き県や国に対して働きかけを行うとともに、本町として現在の財政状況等を注視しながら今後の課題として考える。

答 平成17年より「次世代育成支援行動計画」を策定して、子供たちの健全な育成を応援する取り組みを行ってきたところである。これからも財政面を考慮しながら、でき



問 松島駅・松島海岸駅の拡張整備及びバリアフリー化の
推進について(松島町長期総合計画、第三次基本計画)

答 第三次基本計画の中でも
継続してやっていく考えである



谷 秀 夫 議員
（一問一答方式）

問 住民意識調査によると、松島海岸駅の整備、バリアフリー対応に関して、不満と答えている人が過半数を越えている。不満の要因は何なのか。

答 バリアフリー対応では、エレベーター・エスカレーターなどの昇降施設が設置されておらず、整備に関しては、駅舎自体が大分年数が経過し、国際観光地の駅舎として相応しいものではない等の指摘がされている。

問 これらの指摘に対する町及びJR東日本の対応策について伺う。

答 町としては、松島海岸駅の改修を行うことで解決したいと考えている。改修については、これまでもJR東日本と話し合いを続けてきているが、資金負担の部分で意見が分かれ、継続審議となっている。

問 不満の根幹が、エレベーターの問題と判った。町は第三次基本計画の中で、この事を実施する考えは。

答 第三次基本計画の間でも継続して話し合いを進め、解決していくべき問題と考えている。



問 定住促進へ福祉の充実を急げ

答 定住促進は「次世代育成支援行動計画」の達成で

問 「医療と福祉、子育て環境の充実」が公約だが、定住促進へ他市町に劣らない施策が必要だ。何を実現するのか。

答 若者向け住宅は必要だが、今は災害復興住宅建設を優先し、老朽住宅は延命策を講じる。

問 子育て応援隊・ファミリーサポート事業、保育料全体系の見直し、児童館建設はどうか。

答 子育て応援隊を勘案し、一時預かりや児童館は、後期計画に沿って進める。保育料体系に不都合はないと考える。

問 若者向けの町営住宅や老朽化した町営住宅へ今後の対応は。

問 校納金の一部助成、通学バスの無料化は。

答 保護者の負担軽減に努めたい。通学バスは、一定距離以上の小学生の減免を協議している。

問 高城川堤防のかさ上げを急げ

答 早期改修を強く要望する



問 津波や豪雨でも住民が安心できるよう、高城川堤防のかさ上げ計画の短縮を県に求めるべきだ。

答 策定中の震災復興計画の中でも高城川の改修は大きな課題であり、早期改修を強く要望する。

問 地震で堤防も当然沈下している。改修が完了した部分と、これから改修する部分の計画高の見直しはどうか。

答 変更は必要で県でもそう考えている。一般的に約40cm地盤が下がっており、沈下分を考慮し設計作業に入っている。

問 地盤沈下による満潮や高潮時の浸水が沿岸部で起きている。議会でも視察したが、応急手当はどうなっているか。

答 現在、護岸堤防の浸水箇所は応急補修、道路のかさ上げ、仮設ポンプでの排水をしている。

問 県は、松島湾の防潮堤の計画高を4・3mとしているが今後の対応は。

答 まだ協議が整わず、引き続き協議する。

これも聞きました

問 一部損壊や宅地損壊に支援強化を

答 支援拡大には財政の裏付けが必要



今野 章 議員 (一問一答方式)

一部事務組合議会ならびに広域連合議会報告

宮城東部衛生 処理組合議会

平成23年7月6日(水)、宮城東部衛生処理組合事務所において6月定例会が開催された。審議された議案は、議案第6号平成23年度宮城東部衛生処理組合会計補正予算(第1号)。議案の内容は、東日本大震災により多量に排出される災害廃棄物の処理に要する経費として978万4千円、組合施設の災害復旧経費として1,011万6千円を追加し、それらの財源として基金繰入金、国庫補助金及び組合債について追加補正を行ったものである。歳入歳出それぞれ1,990万円を追加し、予算総額を8億3,590万円となり、採決の結果、全員賛成により可決された。

後藤良郎議員
今野章議員

塩釜地区 環境組合議会

平成23年7月7日(木)、塩釜地区環境組合事務所会議室で開催され、報告事項は、①例月出納検査について、②行政報告があった。議会の審査内容は例月出納検査の結果について報告がなされ正確であると認められた。塩釜斎場業務については平成22年度総計は2千288件で、前年比276件の増であった。松島町は195件で、前年比55件の増であった。火葬場利用実績は、前年比291件の増で603件、使用料は前年比163万4千500円の増で682万6千円の増であった。採決の結果、可決された。

高橋辰郎議員
阿部幸夫議員

塩釜地区 消防事務組合

平成23年度第2回定例会が、平成23年7月7日(木)、午後1時より塩釜地区事務組合消防本部会議室で開催された。提出された議案は、専決処分承認、承認第1号として平成22年度塩釜地区消防事務組合一般会計補正予算(第2号)で3月31日に専決処分したものである。議案第5号は平成23年度塩釜地区消防事務組合一般会計補正予算(第1号)で東日本大震災に伴う災害復旧費歳入歳出それぞれ8千164万7千円を増額、歳入歳出総額を21億5千874万7千円とするものである。採決の結果、可決された。

太齋雅一議員
高橋幸彦議員

宮城県後期高齢者 医療広域連合議会

平成23年8月11日(木)、宮城県自治会館において第2回定例会が開催されました。提出議案は、次の通り。

- ①平成22年度事故繰越し繰越計算書の報告。
- ②後期高齢者医療に関する条例の一部改正。
- ③平成22年度一般会計決算及び後期高齢者医療特別会計決算の認定。
- ④平成23年度一般会計補正予算。
- ⑤23年度後期高齢者医療特別会計補正予算。
- ⑥監査委員の選任の同意。
- ⑦監査委員の選任の同意

以上、提案された議案はすべて原案の通り可決された。

①については、東日本大震災に伴う特例措置による保険料減免の申請期限を延伸するための改正。

②については、一般会計歳入で前年比56・4%増

の8億2,225万円、歳出で前年比41・5%増の7億263万円。特別会計の歳入は、前年比3・1%増の2,152億5,075万円で、歳出は5・4%増の2,136億4,664万円となった。

平成23年6月28日(火)、大和町役場大会議室で開催された。提出された議案は次のとおり。

- ①認定第1号。

平成22年度、組合会計歳入歳出決算認定について。

④については、平成22年度の決算に伴う剰余金の財政調整基金への積立及びその他の所要額の補助を行うもので、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ9億8,809万円とするもの。

平成23年度吉田川流域溜池大和町他2市4ヶ町村組合会計歳入歳出予算について。

- ②第1号議案。

平成23年度吉田川流域溜池大和町他2市4ヶ町村組合会計歳入歳出予算

⑤平成22年度決算に伴う後期高齢者医療給付費準備基金への積立と療養給付費等の事業費の精査により、療養給付費負担金及び支払基金交付金で償還金が生じるため補正を行うため、歳入歳出それぞれ30億4,607万円を追加し、総額を2,198億1,025万とするもの。採決の結果、可決された。

大和町外2市4ヶ町村組合の負担金を定めることについて。採決の結果、可決された。

⑥監査委員の選任の同意。

小幡公雄議員

緑山市朗議員

平成23年第3回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員(可決・採択) 多：賛成多数(可決・採択) 否：賛成少数(否決・不採択) ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席
 ※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山	佐藤	高橋	伊賀	高橋	渋谷	高橋	尾口	色川	赤間	太齋	後藤	片山	菅野	合野	阿部	櫻井	賛成	反対	
				市朗	皓一	辰郎	光男	利典	秀夫	幸彦	慶悦	晴夫	洵	雅一	良郎	正弘	良雄	章	幸夫	公一	成	対	
第76号	松島町議会の議員のその他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0
第77号	松島町町税条例等の一部改正	9月26日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	2	
第78号	松島町都市計画税条例の一部改正	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第79号	松島町町民体育館条例の廃止	9月26日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	15	1	
第80号	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第81号	災害弔慰金等支給審査会等の事務の委託に関する協議	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第82号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第7号)	9月26日	多	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	-	15	1	
第83号	平成23年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第84号	平成23年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第85号	平成23年度松島町介護保険特別会計補正予算(第3号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第86号	平成23年度松島町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第87号	平成23年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第3号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第88号	平成23年度松島町松島区外区有財産特別会計補正予算(第1号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第89号	平成23年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第90号	平成23年度松島町水道事業会計補正予算(第3号)	9月26日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第101号	松島町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	9月26日	同意	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
第91号	平成22年度松島町一般会計歳入歳出決算認定	10月6日	多	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	14	2	
第92号	平成22年度松島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	15	1	
第93号	平成22年度松島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第94号	平成22年度松島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	-	15	1	
第95号	平成22年度松島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第96号	平成22年度松島町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第97号	平成22年度松島町観瀾亭等特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第98号	平成22年度松島町松島区外区有財産特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第99号	平成22年度松島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第100号	平成22年度松島町水道事業会計決算認定	10月6日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	
第102号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第8号)	10月7日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	0	

平成23年第2回松島町議会臨時会 議案採決結果7月15日

全：賛成全員(可決・採択) 多：賛成多数(可決・採択) 否：賛成少数(否決・不採択) ○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席
 ※櫻井公一議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山市朗	佐藤皓一	高橋辰郎	伊賀光男	阿部幸夫	高橋利典	渋谷秀夫	高橋幸彦	尾口慶悦	色川晴夫	赤間洵	太齋雅一	後藤良郎	片山正弘	菅野良雄	合野章	小幡公雄	櫻井公一	賛成	反対
議案第69号	松島町商工業災害再建資金貸付条例の制定	7月15日	多	○	○	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	-	9	8
議案第70号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第5号)	7月15日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0

平成23年第7回松島町議会臨時会 議案採決結果8月19日

議案番号	議案名	議決月日	採決結果	緑山市朗	佐藤皓一	高橋辰郎	伊賀光男	阿部幸夫	高橋利典	渋谷秀夫	高橋幸彦	尾口慶悦	色川晴夫	赤間洵	太齋雅一	後藤良郎	片山正弘	菅野良雄	合野章	小幡公雄	櫻井公一	賛成	反対	
第71号	工事請負契約の締結	8月19日	多	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	1
第72号	平成23年度松島町一般会計補正予算(第6号)	8月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0
第73号	平成23年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	8月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0
第74号	平成23年度松島町介護保険特別会計補正予算(第2号)	8月19日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	17	0
第75号	平成23年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	8月19日	多	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	16	1



本郷地区 11月16日



北小泉地区 11月16日

議会報告会への参加ありがとうございます。



調査の経過

平成22年9月21日	特別委員会開催
平成22年10月20、21日	隣接市町へのエンターテインメント誘致関係説明と協力要請のための議員派遣
平成22年11月22日	特別委員会開催（小委員会設置）
平成23年1月14日	小委員会開催（情報収集分担）
平成23年1月22日	第5回宮城県の活性化を狙うカジノフォーラムin仙台へ委員を派遣
平成23年7月4日	宮城県議会議員連盟と今後の国会、知事、議員連盟の考え方等を協議のため派遣
平成23年9月27日	小委員会開催（誘致推進運動成否検討）
平成23年10月4日	特別委員会開催（委員会全員で結論確認）

どうなったの!!

ゲーミング・エンターテインメント 複合施設誘致対策の 調査終了

特別委員会

委員長 尾口慶悦ほか
全議員で構成

小委員会

委員長 高橋利典ほか
6人の議員で構成

経過

○平成20年6月、当複合施設誘致は地域経済の活性化、観光振興、雇用の促進が図られるという趣旨で陳情された。

○平成20年9月、議会では誘致活動するに値するとの意見が多数を占め、陳情趣旨を採択。

○以後、議会では平成21年3月に特別委員会を設置し調査・審議を継続してきた。

平成21年11月に議会議員の選挙があり、平成22年9月に改めて特別委員会及び小委員会を設置され、表のおり今日まで調査、誘致推進活動に至った。

結果の概要

本特別委員会は小委員会を設置し、近隣市町、県議会の動向、知事の考えなど情報収集に努めてきた。

また、本町の執行部の考え方について再々確認してきたが、町長は小委員会との懇談、或は、塩釜青年会議所主催の町長立候補者の公開立会い討論会でも否定されている。

国会の法律案が次の通常国会への提出を予定されているが、地方公共団体が設置主体となり申請し、国が審査決定する旨の明記もあり、町長が否定している事件を議会が強引に推進するまでの状況ではないと判断せざるを得ない。

したがって、本町議会の意志を長引かせることは問題であり、誘致推進運動を断念すべきであるとの委員会委員全員での結論に達し、本事件調査を終了することになった。

町民の声



相澤多恵子さん
(磯崎字西ノ浜)

松島の国際観光の現状

近年、諸外国は国際観光に国力をそそぎ、しのごを削ってきました。日本政府も、昨年までの十年間、国策として外国人誘客に取り組んだ結果、松島でもその数は急増していました。その様な中で、3・11の震災は全てを白紙に戻す不幸なでき事でした。

行政や議会の後押しで開設された外国人受け入れ窓口である松島海岸駅前案内所も四月末から対応を再開しました。訪れた外国人観光客との会話の中で、彼らにとつての気掛かりは地震や津波よりも原発事故である事を

知りました。それでも彼らは松島を訪れて本当に良かった、松島の自然に心から癒された、という言葉を残してくれました。外国人の彼らが、古来より聖地として心の拠り所であった本来の松島を肌で感じてくれたのです。松島観光の原点に気付かされた思いでした。

住民の宝であり、外国人にとつても魅力ある観光地松島を広く世界に発信し、国際観光を推進する施策を議会に期待します。

文化の日表彰



11月17日に仙台国際センターで開催された平成23年文化の日表彰式で、片山正弘議員が表彰されました。

片山議員は、永年にわたる地方自治の振興に尽力された功績が認められました。

宮城黒川地方

町村議会議長会 自治功労者表彰



高橋利典議員が11月7日に宮城黒川地方町村議会議長会より自治功労者の表彰を受けました。

議員として多年にわたり、地方自治の振興発展に尽力された功績が認められました。



町のホームページから
議会だよりが検索できます！

ホームページアドレス
<http://www.town.matsushima.miyagi.jp/>
議会Eメール
gikai@town.matsushima.miyagi.jp



議会からのお願い

議会だよりにのせる写真撮影のために、議員が出向きます。腕章をつけて行きますので、よろしくご協力をお願いします。

次回12月定例会は
12月12日開催予定です。
ぜひ傍聴においで下さい。

編集後記

3月11日の東日本大震災から8か月が過ぎました。あの大きな地震とその後の大津波により、本町も含め県内の市町村、特に海沿いの市町は未曾有の被害を受けました。

私の生業であるカキ養殖も壊滅的被害を受けましたが、幸いなことに今年度の種ガキは約50%ほどが残り、また例年3月から始まるカキ養殖の準備は1か月程遅れましたが、10月30日よりカキ剥き作業を開始しました。

生産量は例年の半分程度ですが、寒い中、松島産カキのブランドを守るために一生懸命がんばっております。

私達漁業者だけでなく、農林業・商工業・観光業の方々もそれぞれの大震災を乗り越えるべく、最大限の努力をしております。

さて、私達編集委員も今号が最後の仕事となりました。よりよい議会だよりになるように、次の編集委員に期待し、エールを送りたいと思います。

(高橋幸彦)

委員長
副委員長

色川 晴夫
高橋 幸彦
緑山 市朗
佐藤 皓一
伊藤 光
赤間 洵



この広報誌は環境に優しい大豆油インキで印刷しています